

白子町都市マスタープラン

～改定に向けた検討を進めています～

令和6年6月 発行



平素より町政に対するご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

現在、白子町では都市マスタープランの改定に向け、今後のまちづくりの進め方を検討しています。昨年度は各会議での審議を経て、今後のまちづくりの方向性を決めました。令和6年度末までの改定を目指し、秋頃にパネル展示やパブリックコメントを実施し、みなさんのご意見を伺う予定です。

みなさんと一緒によりよい都市マスタープランをつくりあげていきたいと考えておりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



第1回策定委員会の様子

1

都市マスタープランでは、概ね20年後の町の姿とその実現方策を示します

快適かつ便利な生活のためには、道路・公園・下水道等の身近な公共施設の計画的な整備や、土地の使い方・建物の建て方等のルールづくりが欠かせません。このように、まちづくりに必要な事柄を定めたものが「都市計画」であり、みなさんの意見を踏まえ、都市計画の基本的な方針を定めるものが「都市マスタープラン」です。都市マスタープランでは、概ね20年後の望ましい町の姿を描き、それを実現するための方策をわかりやすく示していきます。

白子町では、平成6年3月に今の計画が策定されて以来、約30年が経過しました。現在も刻々と変化する社会情勢に対応するとともに、白子町が目指すまちづくりを一層推進するため、改定に向けた検討を進めています。

都市マスタープランで定めること

都市の現状と課題

全体構想

- 都市づくりの目標と将来都市構造
まちづくりの基本理念や目指すべき目標、将来都市構造などを定めます。
- 都市整備方針
公共施設や公共交通、環境、防災などテーマ別の整備方針を定めます。

地域別構想

- 地域づくりの目標
特性を踏まえ、地域別の目標を定めます。
- 地域整備の方針
地域別にテーマ別の整備方針を定めます。

まちづくりの推進方策

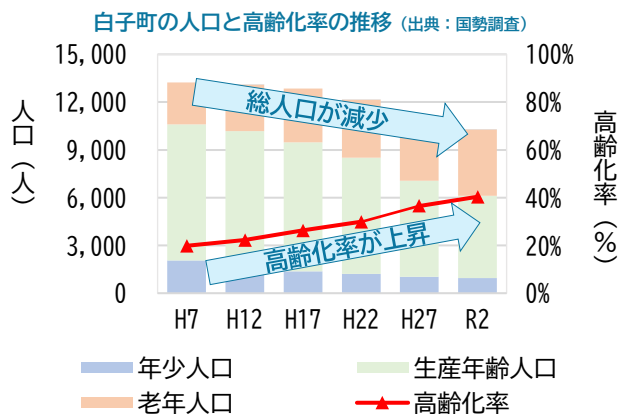
計画実現に向けた取組方針を示します。



2 様々な社会情勢の変化に対応するため、都市マスタープランを改定します

変化①：人口減少・少子高齢化の進展

財政の悪化、地域コミュニティの維持困難等、様々な課題の深刻化が見込まれます。



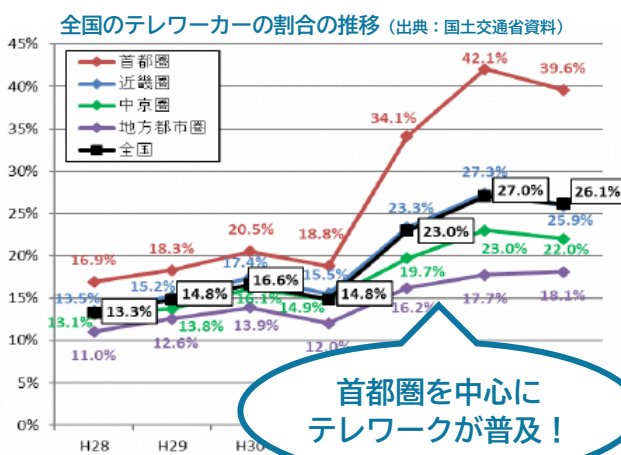
変化②：広域道路ネットワークの形成

東京湾アクアラインや圏央道等が整備され、各地からのアクセスがよくなりました。



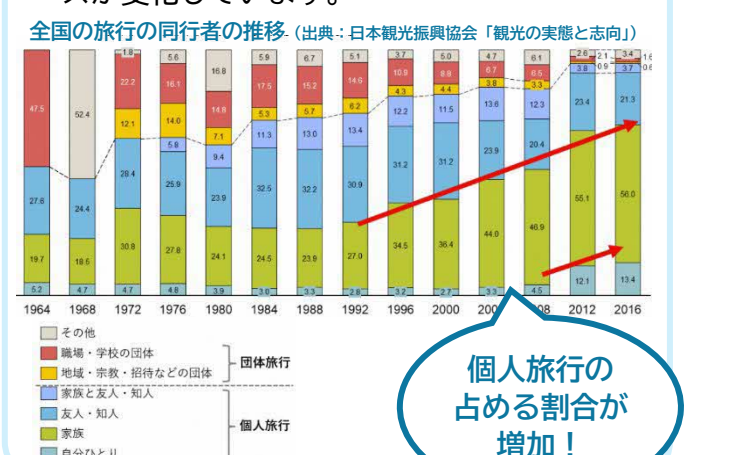
変化③：ライフスタイルの多様化

仕事に対する考え方が多様化しています。



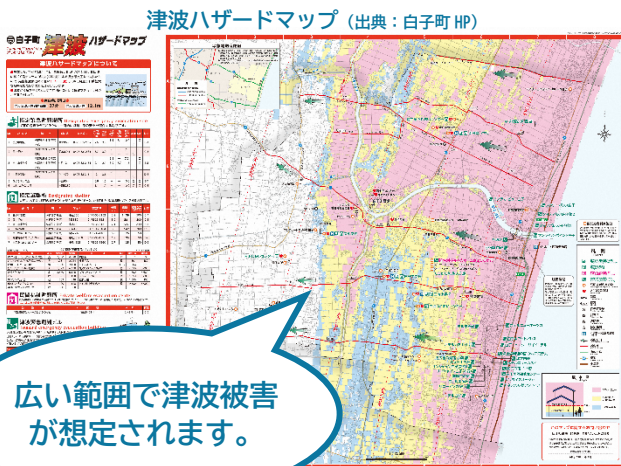
変化④：観光・旅行に対するニーズの多様化

全国的にみて、団体旅行から個人旅行へとニーズが変化しています。



変化⑤：防災ハザードマップの見直し

防災・減災の取組が求められています。



変化⑥：茂原白子バイパスの整備

バイパス整備のさらなるスピードアップを関係機関に要望しています。



3 白子町が目指すまちづくりの方向性を決めました

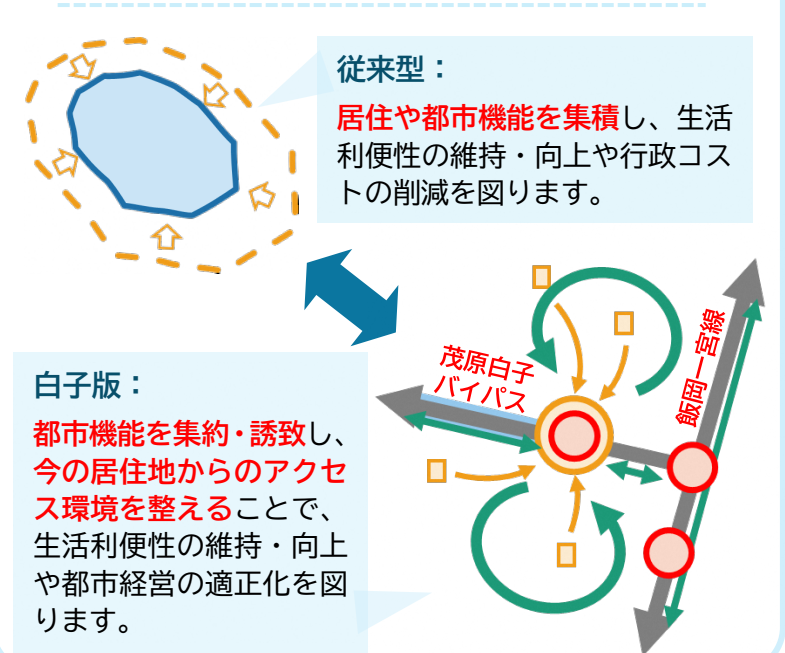
いきいきと暮らしやすく、訪れたい白子版コンパクトシティの実現

白子版コンパクトシティでは、次の3つのことを目指します。

- ・茂原白子バイパス沿いに公共サービスや生活利便施設（都市機能）を集約・誘致した拠点を形成し、各地域と拠点を公共交通等で結びます。
- ・茂原白子バイパス沿いに産業（工場、物流施設等）を誘致します。
- ・茂原白子バイパスおよび飯岡一宮線沿いに、みなさんと来町者（観光客等）が交流できるような拠点を形成します。

白子版コンパクトシティを進めることでみなさんの生活の利便性を維持・向上させ、都市経営の適正化を図っていきます。

ポイント：従来のコンパクトシティと白子版コンパクトシティの違い



4 まちづくりの5テーマに沿ってまちづくりを進めます

テーマ	ターゲット	まちづくりの目標
暮らし	町民全般 特に子育て層や移住者	・移住、定住の地として選ばれるまち ・自然と農業、住宅が共生したゆとりあるまち ・子どもたちがのびのび成長できるまち
健康	町民全般 特に壮年期や元気な高齢者、フレイル層	・生涯にわたり心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち ・地域コミュニティが健全に維持されるまち
交流・経済	観光（団体客、個人客） 農水産業、観光業、製造業	・何度も訪れたい賑わいと活力に満ちた魅力あるまち ・息づいてきた生業を次の世代につなぎ、新たな価値を創出するまち
環境・エネルギー	水と緑、地球温暖化対策 天然ガス等のエネルギー	・自然と共生した持続可能なまち ・脱炭素に向けたまちづくり
安全・安心	自然災害（地震・津波・洪水） 交通安全	・誰もが正しくリスクを認識して、安全に安心して過ごせるまち

※「健康」とは、一人ひとりが健康で生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことができること、また、地域において社会参加している状態を指します。

白子町はこのような町の姿を目指します



生活・交流拠点ゾーン

- ・生活に必要なサービスや施設が集約され、利便性の高い拠点と地域を結ぶ公共交通の運行により、車を所有していなくても生活できるようなまちづくりを目指します。
- ・来町者が利用できる施設（休憩施設、道の駅等）もあり、みなさんと来町者との交流が生まれるような拠点づくりを目指します。

交流拠点ゾーン

- ・バスターミナル周辺にカフェやコンビニがあり、海を感じながらバスを待つことができる拠点づくりを目指します。
- ・温浴施設やスポーツ施設、ショッピング施設・カフェ等があり、週末は町内外から多くの人を訪れるような拠点づくりを目指します。

コミュニティ拠点ゾーン

- ・小学校跡地やふれあいセンター等を活用したコミュニティスペースがあり、ここに来ればいつも誰かがいて、ついつい長居をしてしまうような環境づくりを目指します。
- ・モビリティ・ステーションが設置され、生活拠点や交流拠点への移動手段（公共交通等）が確保できるような拠点づくりを目指します。

お問い合わせ先：白子町建設課 地籍都市計画係

電話：0475-33-2116

メール : kensetsu@town.shirako.lg.jp